

★RSY事務局便り★3月

「スコップは語る…救援資器材」

レスキューストックヤードの被災地支援活動のひとつに「資器材の搬出」があります。2011年は宮崎県の新燃岳噴火に始まり、東日本大震災、台風12・15号水害が続き、名古屋で保管していたスコップやデッキブラシ、一輪車などが各地で活用されました！



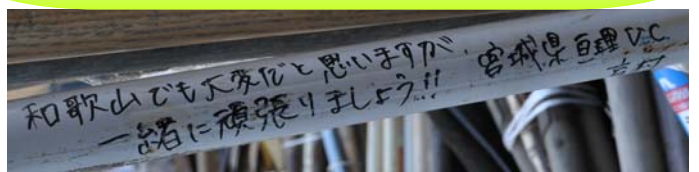
スコップに宮城県巨理町の方のメッセージが添えてありました。



3月に名古屋から東北へ送り出した資器材は、9月の台風水害の紀伊半島を経て10月末に帰ってきました。

★被災地から被災地へ

被災地でボランティアのお手伝いを経験し、当事者同士でしかわかり得ないであろう不屈の意志がこのスコップから感じられ、思わず頭が下がりました。道具としてだけでなく気持ち・想いが伝えられているのですね。



資器材搬出は時間との戦い！呼び掛けた当日、集まれるメンバーで行っています。



★事務局からのお知らせ

戻ってきた資器材は名東区のボランティア資器材倉庫に収納しました。緊急時に備え、点検・修理・手入れ・分類などの整備を平常時に行います。防災にご興味のある方、メンテナンスの得意な方、お手伝いお願いします！！

★資器材の保管には港区の東海建設様はじめ、名古屋建設業協会加盟企業の皆さまに多大なるご協力をいただいています